

各位

2002年5月28日

会社名：株式会社 ドン・キホーテ
代表者名：代表取締役社長 安田 隆夫
コード番号：7532 東証第一部/ナスダックジャパン
お問合わせ先：取締役経営戦略本部長 高橋 光夫
電話：03 - 5667 - 7588

ドン・キホーテは、富士ソフト ABC と共同開発した新しい顧客還元システム「ラッチポン」のサービスを、6月中旬より首都圏3店舗、九州新規店舗に導入し、今秋には主要40店舗へと拡大します。

「ビジネス方法の特許」出願中

富士ソフト ABC 株式会社と共同開発した斬新な顧客還元サービスシステム

株式会社ドン・キホーテは、コンピュータソフトウェア開発の富士ソフト ABC 株式会社（東証一部 コード番号 9749、神奈川県鎌倉市岡本 2-13-18 TEL:0467-45-2811〔代表〕）と、新顧客還元サービスシステム「ラッチポン」を共同開発いたしました。なお、「ラッチポン」の名称は、スク“ラッチ”とクー“ポン”を統合するサービスという意味合いから命名しております。試験運用店舗における検証を終え、6月13日より主要店舗での本格運用を開始いたします。

四種の遊びをミックスし、アミューズメント性を追求

紙媒体「ラッチポンカード」（画像サンプル参照）には、「おみくじ」、店頭でそのまま引換え可能なスクラッチくじ「ドンペンスロット」、ドンキ各店舗のテナントや近隣の飲食店などで行使可能なクーポン「チャレンジクーポン」等のアナログサービスのみならず、さらにネットにアクセスして現金を当てたり、スター（ポイント）を貯めて開運グッズと交換できる「ネット de ゲット」というデジタル還元サービスが用意されています。

当社テナント及び近隣商業者との連携を実現するビジネスモデル

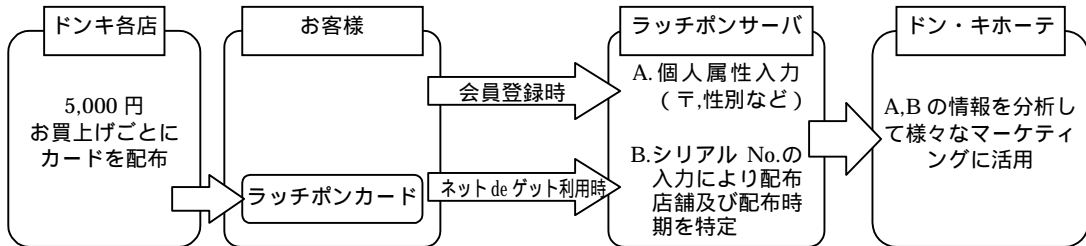
なかでも、「チャレンジクーポン」は、当社テナントや近隣の飲食店とお客様をシェアできる効果的な連携ツールとなっています。各テナントや近隣飲食店は掲載料無料でドン・キホーテの「ラッチポンカード」に参加でき、当社の優良顧客を新規来店者として誘引できます。一方、当社は還元原資をかけることなく、顧客にクーポンサービスを提供することが可能となります。

メール配信機能を装備、券面・ウェブ・eメールを広告媒体として活用

会員によって開示されたメールアドレスには、利用店舗からのサンキューメールが自動配信されるほか、居住地域や性別などによってセグメントされたタイムリーな情報配信も可能となります。それゆえ、当該エリア内の会員は、本人の居住地や嗜好に合わせたお得情報や商品情報を受信でき、不必要なメールを排除できます。なお、「ラッチポンカード」裏面には、当社以外の企業に有料で活用いただける広告面を用意されており、効果的な広告媒体として有料開放にも対応しています（広告受付部署：当社メディア企画課 03-5667-7585）。

戦略的マーケティング分析ツールとしての「ラッチポン」

「ラッチポンカード」のうち、「ネット de ゲット」で還元を受けるにあたって、顧客は会員登録を行います。その際、会員属性として、郵便番号、性別などを入力します。この他、シリアル番号の入力により、当社はそのカードの配布店舗及び配布時期を特定できます。これらの情報により、当社はデータを分析し、ドンキ各店舗間の顧客の重なり具合などを把握し、出店政策立案等に活用することが可能となります。



サービスの概要

共同開発企業.....富士ソフト ABC 株式会社 東証一部 コード番号 9 7 4 9

神奈川県鎌倉市岡本 2-13-18 TEL:0467-45-2811(代表)

カード配布対象者.....店舗で 5,000 円以上お買い上げの当社店舗顧客

配布予定枚数.....今夏までに月度 20 万枚、今秋までに月度 100 万枚を配布。

導入時期及び店舗数.....6 月 13 日の青戸店オープンを皮切りに、順次主要店舗に導入。

6 月末までに 4 店舗、今秋までに 40 店舗を予定。

ラッチポンサイト.....<http://rpon.jp> (PC、iモード、J-SKY に対応)

カードの大きさ.....左右 130mm、天地 50mm

広告出稿のロット.....1 ロット 5 万枚 ~

(表面)

カードデザイン(縮小図)

裏面広告スペースは、5 万枚という小ロットから出稿可能。表面の「チャレンジクーポン」やウェブ、メール配信などと連動させれば、メーカーの商品プロモーション時等に立体的な新広告媒体として活用可能